

# 原子力防災のしおり

## 1 原子力災害とは？

原子力発電所などでの重大事故の発生によって、放射線や放射性物質が大量に放出されることにより生じる災害です。

大量の放射性物質を体に取り込んだり、放射性物質から出る放射線を大量にあびたりすると体に悪い影響が生じることがあります。

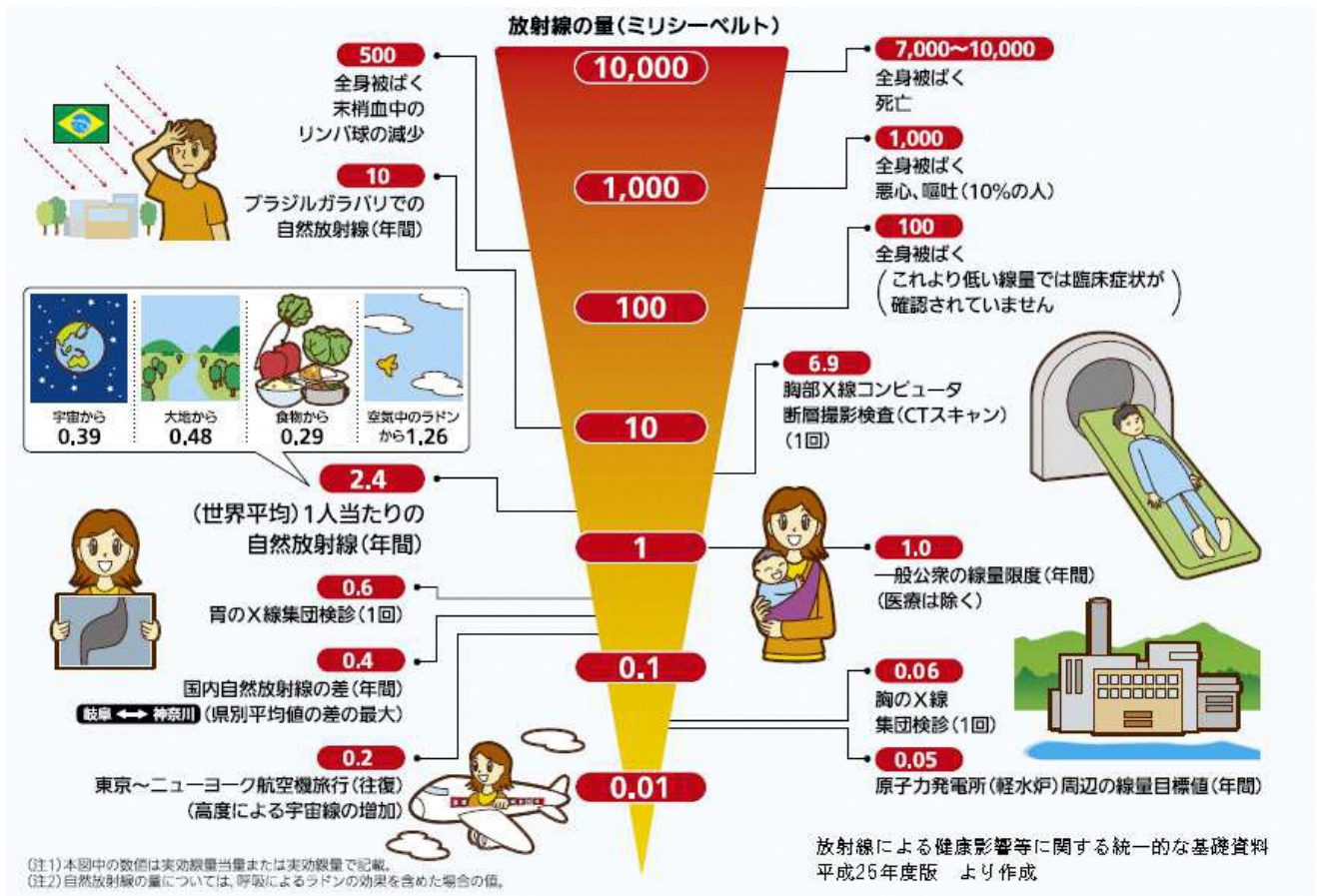
## 2 原子力災害の特徴

地震や風水害など他の災害と違って、体や環境への影響がどの程度あるか、五感で感じることができません。適切に対処するためには、放射線に関する知識や周辺の被害状況などを把握する必要があります。自分で判断しないで、国や県、市町村の指示に従うことが大切です。

本県内には原子力施設がありません。最も近い東北電力女川原子力発電所も、県境から約77 km離れています。国の原子力災害対策指針において、事故に備えてあらかじめ色々な準備をすることとされている区域（UPZ）は、原子力施設から概ね30 kmとされており、県内では特別な対策は必要ないとされています。

しかしながら、原子力災害が人間の五感で捉えられないといった特殊な災害であることや、想定を超えるような事態が発生することも考慮し、原子力災害時にどう行動すべきかをあらかじめ知っておくことが重要です。

## 3 放射線の体への影響は？



# 原子力災害時の行動ガイド

## 1. 人命の安全を第一に行動しましょう

- 自然災害による人命へのリスクが高い場合には、その避難行動を優先し、自然災害に対する安全が確保された後に、原子力災害に対する避難行動を取りましょう。



## 2. 落ち着いて、正確な情報を入手しましょう

- テレビやラジオ、自治体による広報・防災行政無線などから、正確な情報を入手してください。
- デマに惑わされず、冷静に行動することが重要です。
- 電話が混みあって通じなくなりますので、緊急以外の電話は控えるとともに、電話による問い合わせはしないようにしましょう。



## 3. 行政からの指示に従い、「屋内退避」や「避難」をしましょう

- 自然災害の時と同様に、自治体から避難指示が出た場合は、避難行動を取りましょう。
- 屋内退避の指示が出た場合は、屋外にいる人は、自宅や職場、最寄りの公共施設など、建物の中に入りましょう。



### 屋内退避とは？

- 屋内退避とは、屋内に避難することにより、放射線の影響を低減する行動です。花粉対策と同じように放射性物質が室内に入ってくることを防ぎましょう。

《屋内退避時のポイント》

①



屋内に避難してきたら、手洗いうがいをしましょう。

②



外で着ていた服は着替えて、ビニール袋に入れて分けておきましょう。

③



外気が入らないように、窓を閉めましょう。換気扇も止めましょう。

④



家の中にあつたものは飲んだり食べたりできます。すぐ食べないものはラップをしましょう。

⑤



自治体からの指示があるまで外出しないようにしましょう。

正確な情報の入手に努めましょう。

※自宅の機種を確認してください



外気を取り入れない種類のエアコンは使用可能です。

【参考：屋内退避について（内閣府HP）】

[https://www8.cao.go.jp/genshiryoku\\_bousai/shiryoku/okunaitaihi.html](https://www8.cao.go.jp/genshiryoku_bousai/shiryoku/okunaitaihi.html)